

第3回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

日時：令和7年3月27日（木）

14時00分から15時00分

場所：山武市役所第5会議室（新館3階）

1. 開 会
2. 座長あいさつ
3. 議 題
 - (1) 第3期山武市地方創生総合戦略に係るパブリックコメント結果について
 - (2) 第3期山武市地方創生総合戦略の策定について
 - (3) その他
 - ・新しい地方経済・生活環境創生交付金に係るKPIの報告について
4. 閉 会

○会議資料（事前送付）

- ・ 第3回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 次第
- ・ 【資料1】 第3期山武市地方創生総合戦略（案）に関わる意見等について
- ・ 【資料2】 第2回創生戦略会議（令和6年12月20日開催）からの変更点に係る新旧対照表
- ・ 【資料3】 山武市人口ビジョン2025～2070
- ・ 【資料4】 第3期山武市地方創生総合戦略
- ・ 【資料5】 第3期山武市地方創生総合戦略【概要版】
- ・ 【資料6】 新しい地方経済・生活環境創生交付金に係るKPIの報告について

○会議経緯 (14:00～15:00)

対応	内容
事務局	<p>【1. 開 会】</p> <p>それでは定刻になりましたので、ただいまより、令和6年度第3回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の会議ですが、1時間程度を予定しております。</p> <p>進めさせていただく前に、本日の出欠状況をご報告します。</p> <p>本日は、委員総数15名に対し、9名の方にご出席をいただいております。山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱 第5条第2項に基づき、出席委員が過半数を超えておりますので、会議は成立することをご報告いたします。</p> <p>それでは、お手元でございます次第に従いまして進めさせていただきます。</p>
事務局	<p>【2. 座長あいさつ】</p> <p>それでは、次第の2「座長あいさつ」です。上大川座長、よろしく願いいたします。</p>
上大川座長	<p>皆さま、こんにちは。座長の上大川でございます。年度末のご多忙の中、まち・ひと・しごと創生戦略会議にご出席をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>12月に実施いたしました会議にて、第3期山武市地方創生総合戦略の策定に関して、ご意見等をいただいたところでございます。いただいたご意見を参考にし、先日、第3期山武市地方創生総合戦略を策定いたしました。</p> <p>本日は、主に策定についてのご報告をさせていただければと思います。本日は、どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>

対応	内容
事務局	<p>【3. 議 題】</p> <p>続きまして次第の3「議題」に入らせていただきます。</p> <p>要綱第5条第1項の規定により、この後の議事につきましては、上大川座長にお願いしたいと存じます。</p> <p>それでは、上大川座長、今後の議事をよろしく申し上げます。</p>
上大川座長	<p>【3. 議 題】</p> <p>改めまして、座長の上大川です。よろしくお願いいたします。</p>
上大川座長	<p>【3. 議題：(1) 第3期山武市地方創生総合戦略に係るパブリックコメント結果について】</p> <p>では、議題「(1) 第3期山武市地方創生総合戦略に係るパブリックコメント結果について」です。</p> <p>事務局からの説明の後、委員の皆様方からのご意見・ご質問を受ける形で、進めていきたいと思っております。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明に入る前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>次第から始まり、【資料1】「第3期山武市地方創生総合戦略（案）に関わる意見等について」です。【資料2】「第2回創生戦略会議からの変更点に係る新旧対照表」。続いて、【資料3】「山武市人口ビジョン2025～2070」。続いて、【資料4】「第3期山武市地方創生総合戦略」。続いて、【資料5】「第3期山武市地方創生総合戦略-概要版-」。最後に【資料6】「新しい地方経済・生活環境創生交付金に係るKPIの報告について」です。</p> <p>資料は以上になります。不足等ございましたら、事務局までご連絡ください。</p> <p>それでは、第3期山武市地方創生総合戦略に係るパブリックコメント結果について、ご説明いたします。</p> <p>それでは、【資料1】をご覧ください。</p> <p>資料1枚目、パブリックコメントの実施結果について報告いたします。市民の方等のご意見を参考とさせていただくため、山武市パブリックコメント実施要綱に基づき、令和7年1月18日から令和7年2月18日までパブリックコメントを実施しました。</p> <p>本期間における意見等は0件になります。</p>

対応	内容
事務局	<p>続いて、令和6年度第2回山武市まち・ひと・しごと創生本部会議を3月6日に実施したため、その会議での意見について、主なものを報告いたします。</p> <p>意見 No. 1、地方創生総合戦略においては、一部の指標が総合計画と重複するものもあるため、地方創生総合戦略単独の計画ではなく、総合計画と一体化させるのはどうか。というご意見をいただきました。</p> <p>回答概要及び検討結果としては、地方創生総合戦略では、まちづくり、ひとづくり、しごとづくりに係る内容として、第3次山武市総合計画から幅広く網羅して記載しているが、策定目的が多少異なるものとなっており、また、それぞれの計画期間の違いや、長期的な視点となる人口ビジョンも併せて作成している点を踏まえ、今回の策定では一体化は見送りました。しかし、現状すぐの一体化は考えておりませんが、一体化させることも選択肢のひとつとして今後の検討課題といたします。と回答しました。</p> <p>続いて、意見 NO. 6 になります。本項目は前提として、施策2-2では、「中学校3年生の CEFR A 1 レベル相当（英語検定3級程度）以上の生徒の割合」を K P I としています。</p> <p>ご意見では、英語教育に関する K P I を設定しているが、説明文の文章中には英語教育に関する文言が入っていない。この点の整合性はどうか。といただきました。</p> <p>回答等について、「確かな学力」の向上及び、「活きた学力」の推進を図っていることから、学力に係るひとつの指標として本指標を設定しました。ですが、一言も触れられていないことにも違和感があるため、当市の第2期山武市教育振興基本計画を参考にし、英語教育に係る文章を追記しました。と回答しました。</p> <p>修正後の文章については次の議題にてご説明させていただきます。</p> <p>その他、細かな文章の修正については割愛させていただき、説明は以上になります。</p>
上大川座長	<p>では、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p>
	<p>=意見なし=</p>

対応	内容
<p>上大川座長</p>	<p>(2) 第3期山武市地方創生総合戦略の策定について</p> <p>続いて、議題「(2) 第3期山武市地方創生総合戦略の策定について」です。</p> <p>事務局からの説明の後、委員の皆様方からのご意見・ご質問を受ける形で、進めていきたいと思えます。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、【資料2】第2回創生戦略会議からの変更点に係る新旧対照表をご覧ください。</p> <p>まずは、人口ビジョンの名称について、前回会議では、「人口ビジョン」のみとしておりましたが、現行の人口ビジョンとの差別化、いつ時点のものなのかを明確化させるため、他市事例を参考に、「山武市人口ビジョン 2025～2070」といたしました。</p> <p>続きまして、第3期山武市地方創生総合戦略本編につきまして、先ほどの【資料1】を基に、総合戦略の一部を修正いたしました。</p> <p>施策2-2「未来を担うこどもの育成を支えるまちづくり」における文章になります。英語教育に係るKPIを設定しているが、文章中には英語教育に関する文言が入っていない。とのご意見をいただいたため、英語教育に係る文章を追記しつつ、</p> <p>「第2期山武市教育振興基本計画では、「情報化・グローバル社会で活躍できる人づくり」が掲げられている。そのため、授業におけるICT機器の有効活用など、ICT教育の実践や、英語の語学力・コミュニケーション能力の向上等を推進し、グローバル社会で活躍できる人材の育成を図る。」と修正しました。</p> <p>その他については、細かい表現の修正として割愛させていただき、これら修正箇所を反映したものを「第3期山武市地方創生総合戦略」として、令和7年3月、策定いたしました。</p> <p>【資料3～5】が策定した、山武市人口ビジョン 2025～2070、第3期山武市地方創生総合戦略本編、及び概要版になります。</p> <p>【資料5】第3期山武市地方創生総合戦略-概要版-をご覧ください。山武市人口ビジョン 2025～2070 及び第3期山武市地方創生総合戦略をまとめたものです。</p>

対応	内容
事務局	<p>第3期山武市地方創生総合戦略は、本戦略は、「山武市人口ビジョン 2025～2070」と、「第3期山武市地方創生総合戦略」から構成されます。</p> <p>山武市人口ビジョン 2025～2070 は、人口動向や将来人口推計といった現状分析や、目指すべき将来の方向に必要な調査分析を踏まえて、人口の将来展望を示したものです。令和7（2025）年から令和52（2070）年までを計画期間としています。</p> <p>第3期山武市地方創生総合戦略は、国や千葉県の総合戦略を勘案しつつ、山武市人口ビジョンを踏まえ、地域の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。令和7（2025）年度から令和11（2029）年度を対象期間としています。</p> <p>説明は以上になります。</p>
上大川座長	<p>では、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p>
大高委員	<p>確認になるのですが、成田空港の機能強化に伴い、空港関連企業の雇用創出という点に関連して、担当されているのはどこの部署でしょうか。</p>
事務局	<p>総合政策部の中に、空港地域振興課という部署があり、千葉県やN A Aと連携して推進しております。</p>
大高委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>山武市商工会にて、空港の発展とともに地域経済の活性化を図るため、この度、空港推進委員会を組織しました。自治体とも、情報交換等で連携していければと考えているため、コミュニケーションを取れる機会など、今後調整していければと思います。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p>

対応	内容
田中委員	<p>1点目が、施策1-1 KPI「農業所得」について、目標値が基準値の2倍以上になっていますが、この目標値の根拠は何ですか。</p> <p>2点目は、施策1-2 KPI「ふるさと納税寄附金額」について、目標値約4億円の考え方について、それぞれお願いします。</p>
事務局	<p>まず施策1-1 KPI「農業所得」について、本指標については、年々減少傾向にあり、食い止めることを目的に、近年で高水準であった平成30年の数値、1,264百万円を目標値と設定しています。</p> <p>続いて、施策1-2 KPI「ふるさと納税寄附金額」について、令和4年度実績約4,600万円、令和5年度実績7,500万円であり、令和6年度実績を1億5,000万円と見込み、平均増加額から目標値を設定しました。</p> <p>また、本指標を設定した時点では令和6年度実績を1億5,000万円と見込んでおりましたが、農林水産物など、大きく寄附額が伸びたことで、現段階での令和6年度実績は、3億5,000万円を見込んでいます。</p> <p>商工会をはじめとして、皆様のご尽力により伸びております。ここから更に伸ばしていければと考えております。</p>
森委員	<p>基本目標2の数値目標「出生者数」の目標値はどのように設定しましたか。</p>
事務局	<p>出生数は今後も減少することが見込まれますが、令和5年度実績160人を維持することを目標に、160人×5か年で合計800人と設定しました。</p>
諏訪委員	<p>施策1-1 地域経済を担う力強い産業の確立の、②商工業の振興と地域経済活性化という文章の中では、”市内消費の推進”という表現があります。地産地消の推進等が考えられますが、他にどのようなことで市内消費の推進を図るか、ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>郊外型の大・中規模小売店舗等の進出や、後継者不足等の影響により、旧来の商店街では空き店舗が発生しています。</p> <p>商店街との連携強化や地域の魅力を高める取組を通じて、市内消費の推進を図ります。</p>

対応	内容
並木委員	<p>施策3-2 誰もが活躍できる社会の実現のKPI「介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合」は基準値95.7%となっていますが、実数値は把握していますか。</p>
事務局	<p>実数値は担当課の方で把握していると思われるため、後日事務局から結果を連絡します。</p>
/	<p>(担当課への聞き取り結果) 被保険者数8,596人、うち認定者数370人でした。</p>
川口委員	<p>施策1-2 人の流れを生む魅力ある地域の創造のKPI「年間観光客入込数」の目標値は2,282,000人と設定されており、基準値1,747,115人と比較してかなり増加することを狙っていますが、何か具体的な施策等がありますか。</p>
事務局	<p>目標設定に係る根拠からご説明いたします。従来当市の年間観光客入込数は200万人程度で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく数字を下げておりました。</p> <p>基準値となった令和5年度も未だ回復途中であり、例年と比較すると低い数値です。</p> <p>目標値については、例年の水準まで復活させることとし、近年最も大きかった平成20年の数値を目標値として設定しました。</p> <p>具体的にここを伸ばしていきたい等の考えはありませんが、外国人観光客や空港関係の需要など、多方面で協力していきたいと考えています。</p>
川口委員	<p>旧町村での認知度はあれど、山武市としての認知度は県内の人からも低いのではないかと感じる時があります。</p> <p>例えば、「山武市」という名前を活かして、外国人向けの「武」道ツアーなど、様々な方法でPRを強化してほしいと思います。</p>

対応	内容
事務局	<p>観光という点で現在推進しているものとして、いくつか挙げさせていただくと、千葉県と協力した蓮沼海浜公園の再整備や、同じく千葉県や、成田空港と協力したエアポートシティ構想などがあり、山武市に限らず、他機関とも連携して、地域の魅力向上に向け、取り組んでいきたいと考えています。</p>
上大川座長	<p>これらの言わばビジネスチャンスを逃さず、盛り上げていきたいと考えております。今後も委員の皆様から引き続きご意見をいただけたらと思います。</p>
上大川座長	<p>(3) その他 新しい地方経済・生活環境創生交付金に係るKPIの報告について</p> <p>続きまして、議題「(3) その他として、新しい地方経済・生活環境創生交付金に係るKPIの報告について」です。</p> <p>同様に、事務局からの説明の後、委員の皆様方からのご意見・ご質問を受ける形で、進めていきたいと思えます。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>地方創生総合戦略とは少し離れまして、昨年10月、石破内閣が発足し、令和6年12月、国において、従来のデジタル田園都市国家構想交付金を再編した「新しい地方経済・生活環境創生交付金」が設立されました。</p> <p>本交付金は、地域の多様な主体の参画を通じた、安心して暮らせる地方の生活環境及び付加価値型の新しい地方経済を創出することを目的とした、国から地方公共団体への交付金です。</p> <p>新しい地方経済・生活環境創生交付金の中には、目的別に4つの型がありますが、今回はデジタル実装型についてご説明いたします。</p> <p>デジタル実装型は、デジタル技術を活用した地域の課題解決や、魅力向上に向けた地方公共団体の取組を支援する交付金です。</p> <p>さらに条件の違いにより4つのタイプに分類されますが、詳細は割愛させていただき、今回は上から3つ目、「優良モデル導入支援型 TYPE 1」にフォーカスいたします。</p> <p>これは、他の自治体でも導入されているデジタルを活用した市民サービスの実装に関する事業を支援される交付金です。</p> <p>このTYPE 1について、当市では令和6年度の事業及び、令和7年度の事業で活用予定です。</p>

対応	内容
事務局	<p>裏面をご覧ください。</p> <p>(1) が令和6年度における本交付金を活用した事業一覧になります。</p> <p>1つ目が、書かない窓口事業です。本事業は、市役所本庁舎に証明書自動交付機（コンビニにもある、マイナンバーカードを利用して、いくつかの証明書を窓口に行かずに入手することができる端末）を導入しました。これは本庁1階の市民課の前にございます。</p> <p>加えて、申請書作成支援システムを導入しました。これは、市役所における各種申請では、ご高齢の方や、日本語に自信のない外国人の方などは、申請書を書くことそのものが負担となってしまうため、マイナンバーカードを機械で読み取ることで、記入済の申請書が発行される機械になります。これを市民課、国保年金課、社会福祉課にそれぞれ1台ずつ、合計3台導入いたしました。</p> <p>2つ目は、介護認定調査デジタル化事業です。介護認定を受ける際、訪問調査を行っており、従来は紙で内容を聞き取りしつつ記載し、その後、認定に係る手続きという流れでした。本事業は、介護認定調査員さんが使用する紙をタブレットに変え、聞き取り内容を記載するものをデジタル化しました。聞き取りし、記入した紙をデジタル化していた流れを、一貫してデジタル化することで、認定までが早くなり、より早く支援を受けることができるようになります。</p> <p>3つ目は、保育業務支援システム導入事業です。この事業は、市内のこども園や幼稚園、保育園にて、連絡帳やおたよりのデジタル配信や、スマホによる登退園などの記録、出欠連絡をスマホでできるようにすることで、保護者とのコミュニケーションの円滑化や、情報の質や量が充実します。加えて、お昼寝の時間に目視で行っていた見守りを、センサーによる体位等を検知し、目視とのダブルチェック体制によりさらなる安全につなげ、自動で記録、保護者との共有により、さらなる安心につなげることができます。</p> <p>4つ目は、WEB版ハザードマップ導入事業です。</p> <p>この事業は、紙とPDFのみだったハザードマップをスマホやパソコン上で拡大縮小などしながら地図を確認することができるようになります。</p> <p>いつでもどこでも確認できることで、普段からの防災意識向上や、非常時には避難所の開設情報等も掲載することで、適切な避難行動につなげることができます。</p>

対応	内容
事務局	<p>5つ目は、学校教育DX推進事業です。この事業は、市内の小学校高学年、中学校へデジタル教科書を導入する事業です。現在小中学校では、全児童生徒にタブレット端末を配付しており、さらに教科書もデジタル化し、紙と併せてタブレット端末でも教科書を使用することでより教育環境の充実を図っています。</p> <p>また、それに併せて、小学校高学年及び中学校へ電子黒板を導入しました。電子黒板とタブレット端末の両方を連携させ、学習環境の充実を図っています。</p> <p>続いて、(2)については、本交付金を活用予定の令和7年度の事業になります。</p> <p>1つ目は、行かない窓口導入事業です。この事業は、市役所に行かず、スマートフォンやパソコンから市役所の各種申請ができるシステムを導入します。</p> <p>スマートフォン等でマイナンバーカードを読み取り、必要な証明書などを選んでいただき、オンライン決済し、家に証明書がとどくようなイメージです。</p> <p>その他、市のイベントや健康診断の申込など、様々な手続きがスマートフォン等からできるように進めていきたいと考えております。これにより、市役所に来る必要がなくなり、夜間休日などでも申請が可能になります。</p> <p>2つ目は、河川監視カメラ映像配信事業です。この事業は、河川越水の被害が多発している箇所に監視カメラを設置し、その映像をインターネット上でリアルタイム配信できるようにする予定です。これにより、従来市が確認し、避難に係る発信を行っておりましたが、市民の方々がそれぞれ映像を確認することで、市からの情報を待たずとも適切な避難行動につなげるができます。</p> <p>また、これらの2事業についてはこれから、令和7年度の事業となるため、内容が変更となる可能性もございます。ご了承ください。</p> <p>続いて、3. 山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議での効果検証についてです。</p> <p>新たに設立された「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用した事業では、効果的な事業となるよう、産官学金労言等、地域のステークホルダーの意見を踏まえ、KPIの達成度等の効果検証を行うことが求められております。</p>

対応	内容
事務局	<p>当市における効果検証では、実施から3か年分のKPIを測定することが求められており、例年夏頃に実施している、このまち・ひと・しごと創生戦略会議にて、事業の実施に係るKPI等を報告させていただければと考えております。</p> <p>また、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した5事業についての報告は必須ではないものの、今後の参考として、今年の夏から報告させていただければと考えております。</p> <p>以上です。</p>
上大川座長	<p>では、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p>
並木委員	<p>「介護認定調査デジタル化事業」では認定までの時間を短縮するとのことでしたが、実際どの程度短縮されますか。</p>
事務局	<p>実際の数値の測定についてはこれからの段階であるため、現状及び、目標についてご説明いたします。</p> <p>従来紙で実施していた際は、40日～50日程度かかっていましたが、デジタル化し、操作等にも慣れていくことで、先々には30日程度まで短縮することを目標としております。</p>
鈴木委員	<p>令和6年度の5事業の経費や国の補助率はどのくらいですか。</p>
事務局	<p>予算額としては5事業合わせて約8,000万円ほどであり、国からの補助率は1/2であるため、交付決定額は約4,000万円です。</p> <p>実績に応じて、使った額の1/2が充てられるため、実際国からもらう交付金はもう少し少ない金額になると思われます。</p>

対応	内容
鈴木委員	<p>デジタル化を進めるにあたって、お年寄りや外国人など、幅広い方が使用できることが重要だと思います。</p>
事務局	<p>機械だけ導入しても、機械を使えなければ意味がないため、デジタル化を進めていくあたり、特に「書かない窓口事業」において、コンビニにも置いてあるマルチコピー端末を導入した背景として、来庁された方に市役所の職員が使い方を教えることで、次回から最寄りのコンビニでも取得できるようにするなど、デジタルデバイド対策にも取り組みたいと考えております。</p> <p>また、申請書作成支援システムにおいては、高齢者の方や、特に外国人にとっては、日本語を書くことがかなりハードルの高いものになっているため、マイナンバーカード等を読み取り、記入済の申請書を発行することで、デジタル化のメリットを普及させていければと考えています。</p> <p>現在、デジタル化の過渡期にあるため、今後さらに普及させていければと考えています。</p>
上大川座長	<p>機械を導入するときには補助がありますが、ランニングコストや改修などは市の自主財源でみる必要があります。そのため、長期的な視点で、バランスを見ながら進めていく必要があると考えています。</p>
上大川座長	<p>では、最後となりますが、委員の皆様方から何かございましたら、挙手の上、ご発言ください。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、本日の一切の議事が終了しましたので、ここで議長の任を解かさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>【4. 閉 会】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局から来年度の予定についてご連絡させていただきます。</p>

対応	内容
事務局	<p>来年度は第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るKPI等の実績報告として、7月下旬ごろに会議を実施する予定です。</p> <p>また、現在の委員の皆様の任期が満了するため、改めて委嘱のご依頼を、各関係団体様宛に送付させていただきます。</p> <p>今後ともよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、令和6年度第3回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>

(以上)